



alert!

日照不足警報!

『ALA-FeSTA』を散布しましょう!



4月に入り、全国各地で観測史上最低の日照量を記録しております。本来であれば1月から4月はほとんどの地区で日照量が増え、気温も上がってくるはずですが、今年は前線の影響や寒気の流れ込みもあり、関東以西の特に太平洋側で著しい日照量不足に陥っています。これからの作に備えた育苗、または越冬で栽培してきた作物にとってこの2週間は非常に厳しい環境条件になっています。月末にかけても天気の良い日が続く予想のため、一刻も早い手当てが必要です。

観測地点	2015.4 日平均日照時間	平年比	4月予想	観測地点	2015.4 日平均日照時間	平年比	4月予想
北海道(旭川)	5.75	103%	平年並み	愛知(伊良湖)	2.01	31%	著しく少ない
青森	4.81	79%	少ない	福井	2.44	42%	著しく少ない
宮城(仙台)	4.13	66%	少ない	和歌山	2.49	38%	著しく少ない
山形(酒田)	3.84	67%	少ない	鳥取(米子)	3.48	58%	かなり少ない
新潟	3.58	59%	かなり少ない	高知	2.48	39%	著しく少ない
茨城(水戸)	3.59	61%	かなり少ない	広島	2.65	42%	著しく少ない
群馬(前橋)	3.03	46%	著しく少ない	福岡	3.50	58%	かなり少ない
神奈川(横浜)	3.29	56%	かなり少ない	熊本	2.72	45%	著しく少ない
静岡	2.61	42%	著しく少ない	宮崎	2.93	49%	著しく少ない
長野(松本)	2.83	42%	著しく少ない	沖縄(那覇)	4.16	101%	平年並み

統計は気象庁調べ。4月1日～16日の統計値。

【4月に入っての作物の状況】

- \* 作物の生育がストップしてしまった。
- \* 葉先枯れなど要素欠乏がひどくなった。
- \* 病気が出始めた。

どこから手をつけてよいか分からない方も多いと思います。まずは葉緑素をつくり、植物の歯車をしっかり回せるよう『ALA-FeSTA』を使ってみてください。

『ALA-FeSTA』は葉緑素をつくり低日照・低温のストレスにしっかり備えることのできる高機能液肥です。即効性もあるため、このタイミングで散布することで、止まってしまった植物の生育を少しずつ進めることができます。『ALA-FeSTA』はこれ一剤で葉緑素の生成および生育に必要な肥料要素をすべて含みますので、ぜひこの機会に散布してみてください。



- 使い方: 『ALA-FeSTA』を1000倍で葉面散布します。このような状況のときには週1回と散布間隔をせばめて使います。植物の生育が戻りましたら、散布間隔を広げていきます。